

令和5年度 大阪府立刀根山支援学校



～未来を想像し創造せよ～

日時：2023年12月2日(土)13:10～15:30

場所：大阪府立刀根山支援学校 2階多目的ホール

○作品展示 11月27日(月)～12月8日(金)

web 作品展はこちら→

https://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y/gallery_2023/index.html



プログラム

13:10 開会式

13:15 惑星遭難記

～そうぞう謎～

14:20 プレゼンテーション

私が想像してきた道、創造していく未来

15:30 閉会式

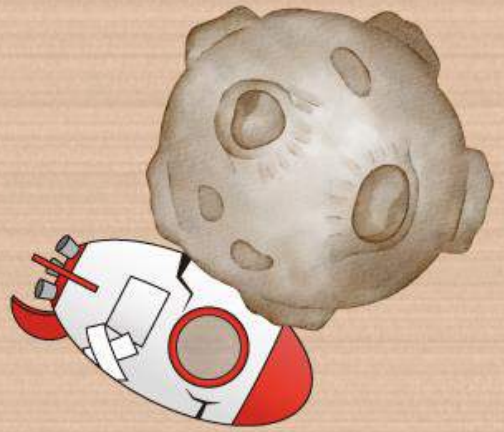
※時間はあくまでも目安です。

前後することもあります。ご了承ください。



落下物注意！！

空から隕石や
近くを通っていた
ロケットなどが



落下してくる可能性があります。

惑星遭難記

あらすじ

ある日、空がキラッと光った。そこにロケットが出現し落下して異星人が出てきた。異星人は今すぐに帰りたい用事があるが、ロケットが壊れて帰れないらしい。私たちの星の科学者にロケットの修理を依頼したが、修理するロボットを動かす合言葉を忘れたらしい・・・ちゃんと覚えてほしい

登場人物紹介

遭難者・・・突然空から降ってきた異星人。仕事で別の惑星に調査に出て、帰り道に遭難したらしい。なぜかロケットの非常事態用の修理道具を持ち合わせていない。ものすごく落ちないという慢心を感じる。

科学者・・・今までにたくさんのロボットを作った。しかし、研究中にミスをすることが多いので、最近は研究をロボットにほとんど任せている。任せすぎていて、いつかロボットに反逆されないか心配している。

しりとりロボット・・・科学者が作った最初のロボット。コミュニケーションを取れるようにしたかったが、なぜかしりとりをするようになってしまった。タッチパネルの文字盤を使えば指示が通るので、現在はナットを作る仕事をしている

クロスワードロボット・・・科学者が作った二番目のロボット。コミュニケーションを取ることに再挑戦したが、言葉遊びをするようになってしまった。とはいえタッチパネルの文字盤で指示が通るので、現在は接着剤を作る仕事をしている。

パズルロボット・・・科学者が作った三番目のロボット。精密な作業ができるロボットを作った。精密な計算をしているため、持ち前の計算力でパズルを解くのが得意らしい。(しかし、全通りの計算をしている。)

修理用ロボット・・・科学者が作った最新型のロボット。三度目の正直でコミュニケーションを取るロボットを作り、マイクを見直したおかげでようやく完成した。声で操作することが出来るので、現在はロボット全体を指揮している。

プレゼンテーション

私が想像してきた道、創造していく未来

このプレゼンテーションでは、三部に分けて私が想像してきた道、想像してきたもの、そうぞうしたい未来を話していきます。

第一部 私が想像してきた道

第一部では、私の幼少期から高校卒業後の進路を決めるまでの自分が想像してきた道を話していきます。どんな絶望と希望、苦難や挫折があったのでしょうか？

第二部 私が創造してきた道

第二部では、私が刀根山支援学校で創造してきたものを紹介します。小学校3年生で何もできないと絶望を感じていた私はどんなことができるようになったのでしょうか？

第三部 私が創造したい未来

第三部では、私の高校卒業後の未来について話していきます。第一部で話した自分自身で選んだ進路、第二部で話した私が創造したものからどんな希望と不安を見つけ、どんなことを伝えるのでしょうか？

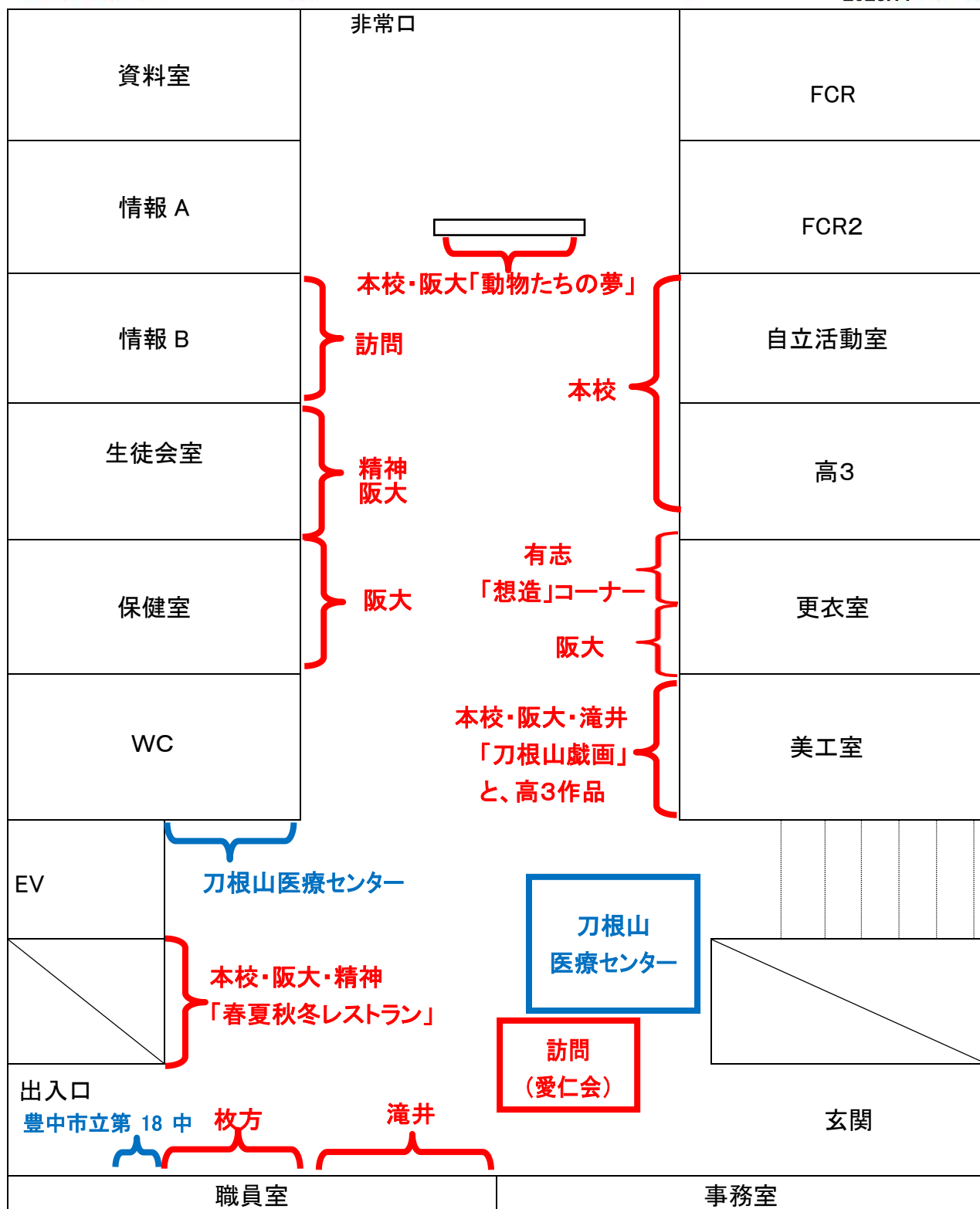
※皆様へのお願い

このプレゼンテーションはまだ未完成の状態です。皆様と一緒に話しながらプレゼンテーションをそうぞうしたいです。そのため、観客席から呼ばれたときに、快く来ていただけると幸いです。

〔1 階〕

展示

2023.11



※展示場所は会期中若干変更になる可能性もあります。ご了承ください。

【図内略称】

阪大→ 大阪大学医学部附属病院分教室
滝井→ 関西医科大学総合医療センター分教室
枚方→ 関西医科大学附属病院分教室
精神→ 大阪精神医療センター分教室



Web 作品展はこちら

令和5年度文化祭に向けて 「想^{そう}」ができるまで

はじめに

音楽の授業では、表現（歌唱・器楽）、鑑賞、創作の3分野を学習の柱としています。

その中でも創作は彼の得意分野で、昨年の文化祭で難解な曲が披露されたのをご記憶の方も多と思います。今年度は音楽の基礎を学び、コードを自由に使えるようになりたいという希望がありました。4月からコードの機能やコード進行を学習してきました。

2学期の取組み

コードの学習も一区切りついたところで、今年の創作をどうしようかということになりました。今年の文化祭のテーマは想造と聞き、文化祭のテーマに基づいて何かできないかと考えました。どんな曲を作るかいろいろ考えましたが、「みんなで歌える曲」はどうかと思いシンプルで歌いやすい曲作りを始めました。

① コード進行を作成。

曲の作り方はいろいろありますが、今回はコード進行をまず作ることにしました。これまでの学習の成果を発揮です。文化祭でみんなが歌えるような曲ということなのでハ長調、4分の4拍子もすぐに決まりました。

② コードに合うメロディーを考える。

これは試行錯誤の連続ですが、歌いやすく自然なメロディーラインを考えました。

③ 歌詞を考える。

作詞は難しいというので、とりあえず文化祭のテーマの想の部分から連想される言葉や短いフレーズを出してみました。これはそのまま歌詞になるのではと思い仮の詞を完成させました。

④ 詞とメロディーの調整

声に出して歌ったりパソコンから音を出して聴きながらメロディーや歌詞をより良いものへと変えていきました。ここは納得のいくまでと言いたいのですが、なかなか難しい。

⑤ イントロとエンディングとタイトルを考える。

曲にふさわしいイントロとエンディングを考えます。いろいろ試した結果これに落ち着きました。タイトルも文化祭のテーマそのままに「想（そう）」としました。

できた曲を聞いてみて

イントロはとてもシンプルで笛の演奏でもよいかなと思います。少しゆっくりなテンポが良いのではないのでしょうか。独り物思う感じが出ています。歌の部分は素直な詞に素直なメロディーがついています。4分の4拍子ですが大きな2拍子を感じて歌うと良いと思います。サビも何か温かい気持ちになりませんか？エンディングは奇をてらうことなく、しかし最後のコード進行にこだわりが見えます。

（文：河村光子）

想

作詞作曲:mutou



9 $\text{♩} = 140$

C F G C C Em Am F

かなしいことはかんがえたくない うれしいことはわすれたくない

17 Em Am7 Dm7 G Am7 Dm7 G7 C

ひまなときにしびしいとかんじる なんでこうなのとおもうことある

25 C G Am Em7 F C Dm G

あたたかいみずはいつかひえるだろう そっとてをあてあたためてほしい

33 C G Am Em7 F C Dm G

ひえきつたみずはいつかこおるだろう そうなるまえにあたたためてほしい

41 Em7 Am F G Em7/G Am Bdim C

イラスト作成の歩み

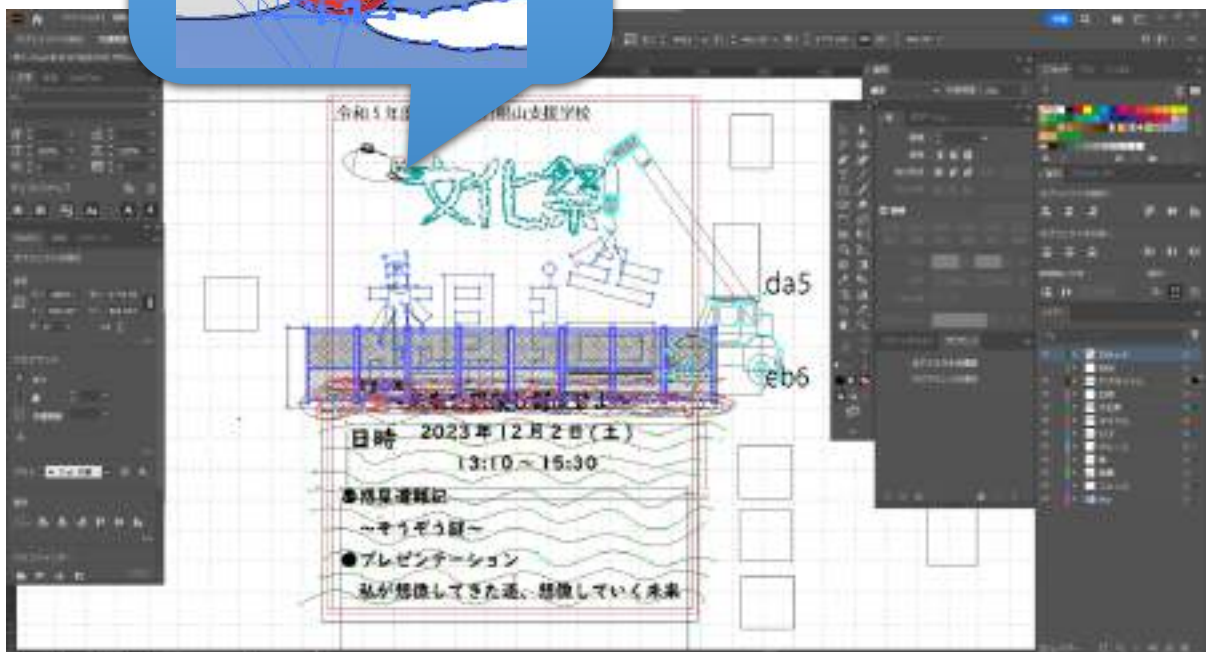
宗戸さんがイラストレーターを使ってイラストを創造。
文化祭のパンフレットの表紙、ポスターなどのイラストです。
ベジェ曲線で一つ一つのイラストを丁寧に作成しています。
イラストの「想造」の文字だけで300個以上のアンカーポイント(点)を置いて作成しています。これらのポイントのハンドルを操作し、線を自由自在に操ります。
全体では約2500個以上のアンカーポイント繋いでイラストを描いています。
緻密かつ地道な努力の賜物で、このイラストが作成されました。



拡大図



この点がアンカーポイント



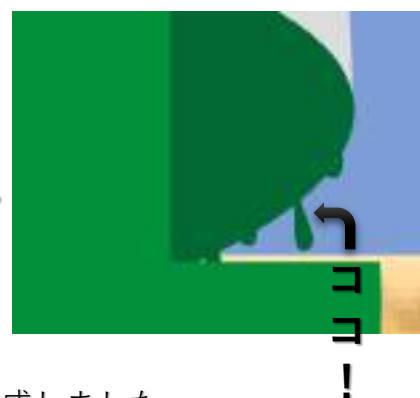
このイラストにはいろいろな工夫が詰まっています。
「想」の文字の木目。そして「造」の文字のコンクリートのような質感。
ペンキのたれる様子を試行錯誤しながら仕上げました。
後ろにある工事用のフェンスは透明度を高め、
「創造」文字を邪魔しないようにしています。
「造」の文字の「口」の部分は少し浮いて見えるようにしています。
クレーンの紐、アイデアがいいですね。そして、緑色のペンキがおもしろいですね。
他にも細部にこだわりが隠れています。空の色のグラデーションには気づきましたか？



ペンキのたれ具合を工夫しています。

拡大するとわかるのですが、ここにペンキがたれいます。見えないところも手を抜きません。

ココ！



地層は一つ一つ作成しました。この地層が幾重にも重なり描かれているようにたくさんの努力が幾重にも重なりイラストが作成されました。少しでも伝わると嬉しいです。

最後に

この文化祭にかける思い
今年もこの時期がやってきました。去年は
縁日や謎解き、舞台発表がありました。今
年は生徒がさらに減って一人になってしま
い、スケールダウンになってしまいました。
しかし！その分3か月の間、去年よりも濃い
文化祭へと準備していきました。そして、
今年も「自分もお客さんも楽しく」をモッ
トーに誰もが楽しめる文化祭をめざします。

高3生徒

相 道

文化祭アンケートにご記入お願いします⇒

